

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イーグルコート御所北 室町通計画	階数	地上5階
建設地	京都府上京区室町通寺之内上も二丁目下御所北半町201番、202番、203番、205番(合併)	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年12月4日
敷地面積	873.38 m ²	作成者	株式会社東洋設計事務所 濱井 伸吉
建築面積	518.97 m ²	確認日	2019年12月4日
延床面積	2,103.64 m ²	確認者	株式会社東洋設計事務所 濱井 伸吉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	71%
③上記+②以外の	68%
④上記+	68%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.1**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	3.4
温熱環境	2.9
光・視環境	3.1
空気質環境	4.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.5
耐用性	3.1
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.3**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	4.2
地域環境	2.8
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	室内環境において昼光率、自然換気性能の確保やVOC放散量が少ない建材を採用することによる居住者の住環境の向上に努めると共に、部材の耐用年数や再利用可能な設計により環境への配慮をしている。	その他 LED照明機器の採用
Q1 室内環境	建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料をほぼ全面的に採用・さらにホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー	特に無し	LR3 敷地外環境 特に無し
Q2 サービス性能	構造躯体等における劣化対策等級は等級3を確保し、劣化の軽減に努めている。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される